

まちの花屋さんが快挙！

ついに夢の舞台への切符を獲得、大きな飛躍を目指す



9/8

保原屋生花店（鉄炮町）で店長を務める原田徹さんが、第11回ふくしまチャンピオンズカップ（フラワーデザイン競技）で優勝し、花屋の憧れと言われる「ジャパンカップ」への出場権を獲得しました。原田さんは、3年前から本格的にフラワーデザインを学び、3度目の挑戦で快挙を成し遂げました。飯館村の花き農家に生まれた原田さんは、13年前、高校卒業と同時に保原屋生花店に入社しました。これまで常に花と向き合ってきた原田さんの人生が今、大きく花開こうとしています。「これからも変わらずみなさんに花のある暮らしを提供していきたい」と話す原田さん。来年4月に開催される夢の舞台「ジャパンカップ」での活躍を期待しています。

◀保原屋生花店のカウンターで花束をつくる原田さん

KAWAMATA-topics まちのわだい



10/3

再開した山木屋診療所では、早速、診察が行われました。

山木屋診療所が再開！

約5年4か月ぶりに診療を再開

山木屋地区の医療機関「山木屋診療所」が、約5年4か月ぶりに診療を再開しました。同診療所は、原発事故前と同様に済生会川俣病院が運営を行い、当面は月曜日（午後2時～午後4時）、水曜日（午前10時～正午）の週2回の診療を行います。再開にあたり、大庭敬所長から「健康を守り、優しさと安心を与える診療所にしたい」とあいさつがありました。みなさん、ぜひご利用ください。

防災訓練を実施しました

避難所開設など災害時の行動を再確認

おじまふるさと交流館を拠点にして、川俣町・県北地方防災訓練を実施しました。この訓練は大規模な災害が発生した場合に備え、関係機関の連携強化や地域全体の防災力向上を目的に実施されました。訓練では小島地区のみなさんに参加いただき避難訓練を行い、災害時の行動について確認しました。災害が起きたとき、正しい判断をすることがみなさんの命を守ります。みなさんも避難所を再確認しておくなど、普段から災害への備えをしておきましょう。

交通事故対応訓練のようす▶



10/2

かわまた 2

10/4



オモイをカタチにしたい

夢は車いす 1 台を町内施設に贈ること

「家にプルタブ、キャップがあれば、ぜひ川中に持ってきてほしい」と、川俣中学校ボランティア委員会長の佐藤碧さんは話します。同委員会は 4 月から「誰かのために何かをしよう」という思いのもと、空き缶のプルタブ、ペットボトルのキャップ回収を始めました。プルタブは 500 kg で車いす 1 台に、キャップは発展途上国の子どものワクチンになるそうです。プルタブ 500 kg まで残り 390 kg…。家に眠っているプルタブがあれば、ぜひ川中まで！

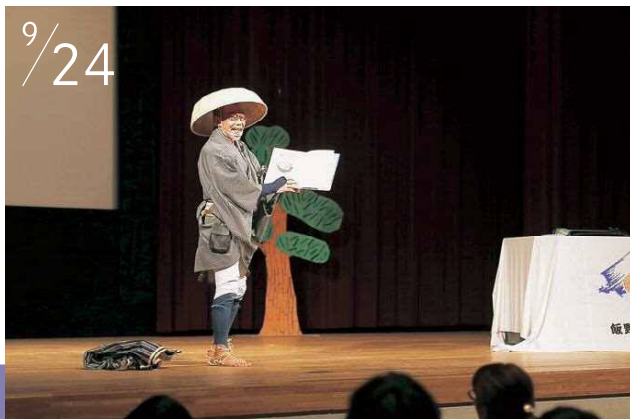
◀「プルタブ、キャップ、少しでもいいのでぜひご協力ください！」

おはなしポケット 20th

飯野和好さんによる読み聞かせ会を実施

活動 20 周年を迎えた読み聞かせボランティア「おはなしポケット」が、絵本作家の飯野和好さんを招き、活動 20 周年記念事業を行いました。「ねぎぼうずのあさたろう」シリーズで知られる飯野さんによる読み聞かせおはなし会では、大人も子どももクスッと笑ってしまうネタが満載で、会場は大いに盛り上がりしました。絵本が生きているような読み聞かせは、参加したパパ、ママにも大変好評でした。

9/24



絵本には大きな世界が広がっています。みなさんもぜひ広げてみてください



9/1

明るくエコなコンピューター室は生徒にも人気です！

LED 照明で明るく省エネ

川俣中学校のコンピューター室に設置

町は福島県の省エネ意識向上プロジェクト補助金を活用し、川俣中学校のコンピューター室の照明を LED 化しました。この補助金は、地域における省エネ意識の向上を図り、地球温暖化防止を推進するための補助金で、補助率は 100% です。LED 照明のおかげでコンピューター室はこれまで以上に明るくなり、生徒は快適に授業や部活を行っています。明るく省エネな LED を、みなさんもぜひ活用ください。

小島が優勝！ 大運動会

健康づくり大運動会、今年も盛大に！

第 36 回川俣町健康づくり大運動会が、今年もにぎやかに開催されました。雨によりグラウンド状態が悪かったため、昨年に引き続き、今年も町体育館での開催になりました。子どもから大人まで、地域が一丸となって競技が行われ、体育館には元気いっぱいな声が響き渡りました。今年は活発な子どもたちの元気と、パワフルな大人の力が融合した小島地区が優勝しました。誠にありがとうございます！来年は青空の下、運動会ができますように！

9/25

